

●特集

平成子育て談議



No.25

平成子育て談義

生まれたばかりの赤ちゃん

両親の愛と家族の期待を一身にうけ、

元気な産声をあげています。

ぎゅと握ったこぶしには、幸せの予感と日本の国の未来が…。

一方、平成五年度の特種合計出生率は一・四六八。

このまま産まれる子どもの数が減り続けると

高齢化が急速にすすみ、

また、社会の活力の低下にもつながります。

減ってきた理由は一体、何でしょう。

シングル志向の女性が増えたこと？ 子育て費用が負担？

仕事と育児の両立を支援する制度がまだまだ不十分？

住宅が狭いのも切実な悩み？

しかし、その中でも問題を解決して

いきいきと子育てをしている人たちも大ぜいいます。

仕事や地域活動などで自分を育てながら

そして、もちろん、楽しみながら子育てをしていくためには

どうしたらよいのでしょうか。

この号では、『平成子育て談義』と題して、

これからの子育てのあり方について、

家族、住居、地域、制度など、

さまざまな角度から考えてみたいと思います。



“特集 平成子育て談義”

〈提言〉 東京大学助教授 汐見 稔幸

「子育てが夫婦共有の人生実現 の場であっていい！」

4

ねっとわあく編集員が「結婚とは？子育てとは？」
街角できいた

6

〈イキイキ子育て事例集〉

育児サークル

母子ともに育児・育自
「あんふぁんて」

8

高齢出産

夫と協力で
イキイキ出産

9

住まいのくふう

子どもが楽しく
育つ住まい

10

育児新聞

ふれあい家族
子育て絵日記

11

仕事も子どもも

ワーキング・マザーの
子育て奮戦記

12

父親参加の子育て

山の生活を楽しんで

13

〈専門家からのご意見〉

子育てで親もイキイキと輝こう

静岡県立こども病院院長 北條博厚

8

住まいからみた子育て

静岡大学教授 外山知徳

10

経済構造変化にともなう生き方と教育のゆくえ

静岡大学教授 小櫻義明

12

★本・だ・な「ねっとわあく編集員おすすめの本」

14

★相談するなら…・他

15

・相互託児サークルに入会して

・子どもが楽しく育つ住まいの秘訣

・夫と協力でイキイキ出産

・ワーキングマザーの子育て奮戦記

・5人子どもたちが主人公
ママがつづるステキな絵日記

・父さんがつづる子育て絵日記

子育てが夫婦共有の、 人生実現の場であっていい！

自称フェミニストと名乗られる汐見助教。父親が育児に参加する意味や、「父子手帖」を書くきっかけとなったご自身の子育て体験など、大変分かりやすくお話してくれました。母親たちに、そして父親たちに寄せる助教の温かいエールが伝わってくるようでした。

(編集員感想)

東京大学教育学部助教

汐見 稔幸

父親が育児に参加する意味

近年、子どもの数が減少してきています。それとともに、子育ては気遣いや不安が多くて楽しくないと考える人も少なくありません。夫婦二人で、子どもを産むか産まないかの選択をきちんとし、育てることは大変だけでも楽しい、将来にわたっていつも二人で育てていこう、という気持ちを持てるのが一番大切でしょう。

サラリーマン型に働く女性が多くなっている現在、女性だけが、家事、育児を担うのはおかしいと思いませんか。社会的には、女性が喜んで子どもを産もうとするようになるための援助システムを作っていくことが大切です。また、大家族から核家族へと家族の形態も変化してきています。しかし、そこにモデルはありません。したがって、自分達なりの家族を夫婦二人で作りに上げていくことも必要だと思えます。一方で男性が家庭の中でゆとりの時間が持てないという現状もあります。

経済効率が優先される企業社会の中では、人間としての自分を持つことは難しい。そのため男性が企業社会を支え、介護、教育、環境など直接もうけにならない領域の問題は女性が担うという形で社会的な分担ができています。両者の交流がありません。これでは、お互いが非人間な生き方を強いられ、男女共に犠牲をはらっているといえるでしょう。女性が安心して楽しく子育てできるためには、最も身近にいる夫、同居人がサポートすることが大切です。育児への参加は夫にとっても重要な意味があります。子どもの成長の喜びを体験できるだけでなく、成長にかかわる中で自分を見直すことができるのですから。子育てを通して、男性側も人間として成長できるし、会社の論理ではない、人間としての価値を感じられるのではないのでしょうか。

働く人が増えたこと、お父さん自身も子どもがかわいさに気づいたことの現れでしょう。両親学級でも積極的に質問するのはむしろお父さんの方が多いくらいです。そんな中で、父親向けの手ごるな育児書といえますか、子育てをやってみようというお父さんたちのとっかかりとなればと思います。「父子手帖」を作りました。

母性本能は育っていくもの

私にも三人子どもがいます。おっぱいを与えること以外の子育てはすべてやりました。もともと、私自身の父親が大変子煩悩な人で子どもの頃からずっと、家族はみんなで作るものという思いがありました。また、世の中には実は男女平等でないことが多いのではと感じていて、職業も教育の道を選びました。結婚したら、自分の足元は、せひ平等でやってみたいと考えていたのです。

アタッチメントができたのでしょうか。何か困った時は「お母ちゃん」ではなく、「お父ちゃん」と呼ぶようになりました。その子が熱性痙攣にかかっていた頃、医者から今度、高熱を出したら脳にダメージを与えると言われました。発熱させないためにはどうしたらよいか。子どもの寝ている様子をじっと見ていましたら、明け方、ふとんを蹴とばすので風邪をひくことが分かりました。そこで、私は二時から四時の間、起きていてふとんをかけ直すことを一年間、夢中でやりました。これが母性本能だとすると、それは本能ではなく、愛情をかけることにより育ってくるものだと思えました。また、男性の中にも同じような感情は育つものだと発見したのです。

お父さんたちにも、子育てのおいしいところだけつまみ食いするのではなく、大変なこともすべて体験してほしいと思います。



ライフステージごとの夫婦の 関係とは?

妻が妊娠したら、まず夫婦でしっかり相談をして、いい関係を作って欲しいと思います。子どもは、「家族っていいな」「生きるっていいな」と感じられる環境の中で、自立していくのです。育児期は、夫も子育てに参加して、安定した家庭作りをすることが基本だと思います。

やがて、女性の平均寿命が九十歳に近づいていこう。その分だけ、夫婦として生きていく期間が長くなります。子どもが自立した後の夫婦のセカンドステージは、少し離れた関係の中で、夫も、妻も自分の好きな選択をしてみ

る。そこでもう一度、パートナーとしての関係を見直すことも、必要ではないでしょうか。また、自分の血を分けた子どもだけを子どもと考える日本人の意識も変えていく必要があるのではないかと思います。

自立させるための愛情とは

愛情とは難しいものです。ともすると拷問になってしまうこともあります。愛するがゆえに遠くから見守っていることも大切です。いたずらをしている子どもを見て、「おもしろい遊びをしているね」「そんな遊び方もあるんだね」と、温かく声をかけてあげることが必要です。最近、親に対して過剰適応をする「よい子」が多くなってきていま

す。子どもは、子ども同志の遊びの中から、冒険心や我がままがいけないことなどを身に付けていくのです。何でもかでも親が教えてしまうと、子どもの個性が伸びていけなくなるのではないのでしょうか。

また、人間は、あらゆる動物の中で最も親に依存的です。子どもは、愛されていると感じられる環境の中で自立させていくことが大切です。子どもが困っているときは、手助けをしてやりましょう。ひとりひとりのよいところを見つけて、変わっている子には、「おもしろいわね」「のんびりとゆっくりしている子には、「ゆったりできるのね」と言ってあげましょう。短所、長所として見るのではなく、その子の持ち味

父親の変化に期待

バブル崩壊後、サラリーマン社会にもリストラなどの変化が起きていることから、会社人間だった人も家庭を顧みることができるようになりました。子育てに積極的に関わり、楽しめる父親がますます増えてくれることを期待しています。

なんでなかったの 「父子手帖」

汐見 稔幸(しおみ としゆき)
大阪府生れ しし座
東京大学教育学部助教授
専門/言語と教育 教育学的発達論
主な著書/「幼児の文学教育」「いきいき小学生」「もうすぐ1年生、学力はどこまで必要か」(以上、大月書店)「すてきな子育てしませんか」(労働旬報社)ほか

「夫婦のよい関係をつくるためにも、父親に愛してもらったという体験を子どもに残していくためにも、そして何よりも父親自身の人間的喜びのためにも(「父子手帖」より)お父さんの子育てを応援したいとつくられた本が、この「父子手帖」です。

妊娠、出産、育児に関するポイントが、かわいいイラスト入りでわかりやすく解説してあります。

例えば「お父さんも子ども

と遊ぼう」のページでは、お父さんのひざの上でゆらゆら腰を軽く支えて、ひこくきブンブンなど子どものあやし方アラカルトが紹介されています。また、すてきなお父さん度チェックリストや、メモ欄もあり、子育ての記録も残せるのが魅力です。

結婚する際や、出産を控えて、妻が夫にプレゼントするカップルも増えてきているようです。また、企業戦士だった五十歳代の読者から、一緒に子育てに関わるべきだったという感想も多く寄せられているようです。

この本があればすてきなパパになれること請け合いです! お父さん、出番ですよ!

